

F6C

製品説明書



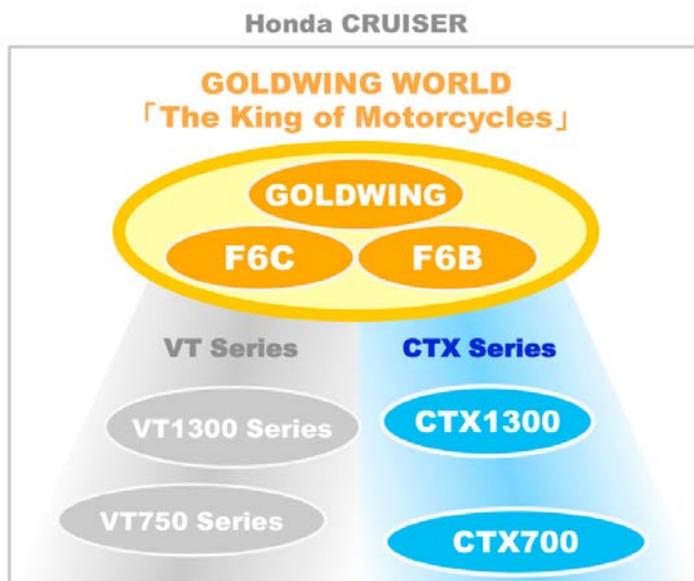
開発チームは、世代を超えた多くのお客様に、HondaのフラッグシップであるGOLDWINGの魅力を身近に体験していただくことを目的として、GOLDWING F6Cを開発しました。

GOLDWINGの伝統と品質、格式や価値観は継承しながら、これまでGOLDWINGに目を向けてこなかった世代の嗜好を徹底的に分析。日常生活の中での気軽さと街中で映えるスタイリッシュなGOLDWING F6Cを目指しました。GOLDWING F6Cは、クルーザーならではの、風を感じる爽快感とGOLDWING独自の走行感覚が体験可能で、満足いただけるような仕上げになっています。

GOLDWING F6C コンセプトイメージ



この新しいGOLDWING F6Cの登場により、GOLDWINGワールドがさらに拡充し、Hondaのクルーザーを新しい世代の人達にも関心を持って体験していただき、モーターサイクル市場が成長し活性化することで、モーターサイクルのある生活が、これまで以上に世界に広がればと願っております。



GOLDWING F6Cのスタイリングデザインは、これまでGOLDWINGシリーズを支持いただいた方々だけでなく、若い世代の方々の感性にも訴えることを目的として開発しました。スタイリング上の最も大きな特徴は、迫力あるトライアングルプロポーションです。左右に振り分けたラジエーターシュラウドは、フロントまわりの力強いフォルムを演出し、ロー&ロングなフォルムと相まって、GOLDWING F6Cの個性を際立たせています。ツーリング走行時や市街地走行時などの様々なシーンで圧倒的な存在感を誇示しながら、新しい価値を感じてもらえるスタイリングとしました。

GOLDWING F6C は、GOLDWINGが築き上げてきた「威厳」「優雅」「躍動」「迫力」で構成される「The King of Motorcycles」の遺伝子に、「パフォーマンス」「マッシブ」を加えることにより、これまでに無いHonda独自のクルーザーを創出する事を目指しました。

開発のキーワードは、

Honda Top End Performance Cruiser “F6C” 迫力の Street Muscle Cruiser



スタイリングイメージスケッチ



スタイリングデザインスケッチ

■スタイリングデザイン

GOLDWING F6Cのスタイリングの特徴として、ラジエーターを左右に振り分けたことにより、ラジエーターシュラウドがフロントまわりの力強いフォルムを際立たせ、後ろ下がりの三角形フォルムと、ロー&ロングフォルムとで迫力のあるプロポーションとしています。Honda独自のクルーザーフォルムを主張しGOLDWINGシリーズの血統を受け継ぎながらも、個性的なスタイリングとしています。

**■フロントフェイスデザイン**

ヘッドライトカウルには、GOLDWING F6Cの個性を際立たせる独自のフェイスデザインを採用しました。LEDヘッドライトは、上下に分割したリフレクターにより、ハイビームとロービーム切り分け式を採用し、これまでにないメカニカルな表情を創出。ヘッドライト左右に配したエアダクトとフロントフォークカバーと相まって、瞬時にGOLDWING F6Cと認識可能な、力強く独創性のあるデザインとしています。



■フューエルタンク

フューエルタンクは、これまでのGOLDWINGシリーズとは異なり、一般的なモーターサイクルと同じ位置にスチール製フューエルタンクをレイアウトしました。容量は22Lを確保し、ティアドロップ形状のデザインによりクルーザーらしい雰囲気を表現。加えて、左右にラジエーターシュラウドを配することによって、これまでにない力強い独特のスタイリングを構成しています。フューエルタンク上面には、個性的な形状のフロントトップカバーを配し、ヘッドライトからのシャープな流れのサイドビューと、アクセントのあるダウンビューが、独特なスタイリングを演出しています。

**■シート**

シートは、近距離のツーリングから街中の走行までを想定し、軽快さを意識して新たに開発しました。コンパクトなサイズのパッセンジャーシートは、取り外し可能なセパレートタイプとし、単独ライディング時のクルーザーらしい全体フォルムを味わっていただくことを可能としました。



■リアビューデザイン

従来のGOLDWINGシリーズと異なり、トップボックスやサイドパニアケースを搭載しない低いリアビューは、GOLDWING F6C最大の特徴です。後方に向かってローダウンしたテールデザインにより、フロントの塊感を演出。オプションで設定した実用性の高いレザーサドルバッグを装着することで、ショートツーリングや、買い物の荷物を載せることも可能としています。また、持ちやすい大型アルミグラブレールを新たに採用し、パッセンジャーへの機能面も配慮しました。新たにGOLDWING F6C用に設計した低く水平に配したLEDテールランプとウインカーが、リアビューのフォルムを引き締めています。



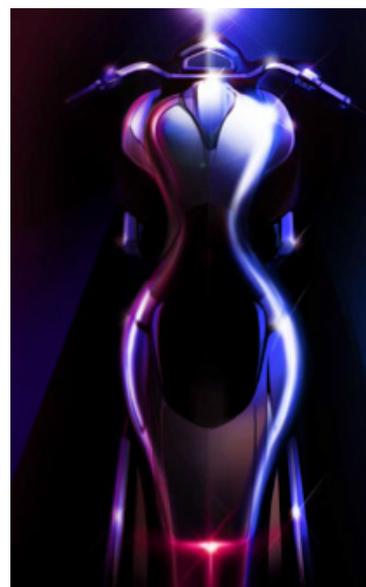
■メーターまわり

コンパクトに集約した機能的なメーターは、シンプルで斬新なデザイン。デジタル表示により、走行時の視認性を追求しました。



■ダウンビュー

GOLDWING F6Cのデザインは、ライダーが車両に乗るときに目にするダウンビューのフォルムにもこだわっています。タンクから左右に張り出したラジエーターシュラウドは、おおらかで力強い面構成により、独特の居住空間を演出しています。力強く大きく張り出したタンクとラジエーターシュラウド周辺のマス感と、低く広い座面を有したシートとの間は、ライダーが快適に跨ぐことを可能とし、オーガニックな曲面構成により、力強さと優雅さを持たたくびれをもたらしています。



■カラーリングデザイン

カラーリングは、「Honda Top End Performance Cruiser “F6C” 迫力のStreet Muscle Cruiser」のコンセプトにふさわしい、新しい世代の方々にも受け入れていただけるような演出をしています。

- ①アグレッシブで精悍な印象をあたえる鮮やかなブルーメタリック「ATMOSPHERE BLUE METALLIC」にセンタートップカバー/メーターカバー/フロントトップカバーを黒で統一。
- ②力強いスタンダードカラー「GRAPHITE BLACK」にセンタートップカバー/メーターカバー/フロントトップカバーをクローム、シルバー仕上げ

上記の2カラーを用意しました。サイドカバーには、専用のクロームメッキエンブレムを配することで、高級感を演出しています。



ATMOSPHERE BLUE METALLIC



GRAPHITE BLACK

GOLDWING F6Cのエンジンは低重心で静粛性に優れたGOLDWINGの1800cc水平対向6気筒エンジンを継承しています。そのスムーズな出力特性と加速の魅力はそのままに、車体の軽量化と相まって、低速域からのパワフルなフィーリングと力強いサウンドで乗り手を魅了します。

環境性能はGOLDWINGと同様に、PGM-FIシステムにより精微な空燃比制御を行い、浄化効率を高める未燃焼ガスの酸化反応を促すエアインジェクションシステムに加え、三元触媒機構「HECCS3<Honda Evolutional Catalyzing System>」を備える事で、排気ガス中のCO（一酸化炭素）、HC（炭化水素）、NO_x（窒素酸化物）を大幅に低減させるなど高度な排出ガス浄化性能を実現。力強くスムーズな出力特性を犠牲にすることなく、高い環境性能を継承しています。



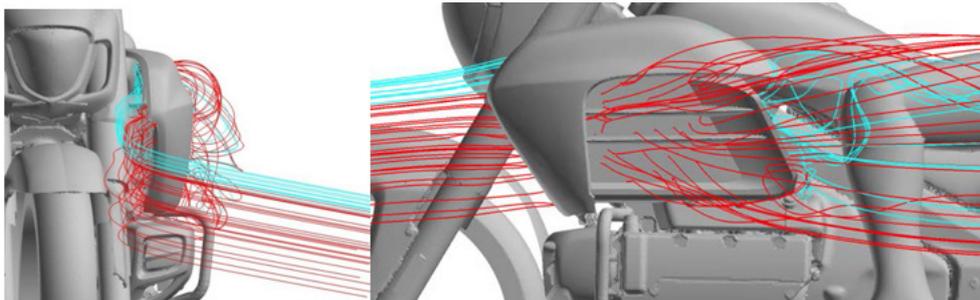
■マフラー

マフラーは、外観形状と排気音にこだわりを持って開発しました。スラッシュカットのテールエンドには6本のテールパイプを配置し6気筒独特の雰囲気演出しています。マフラー構造をGOLDWING F6C専用に見直し、独特の力強いサウンドを楽しんでいただけるようにしました。



■ラジエーター

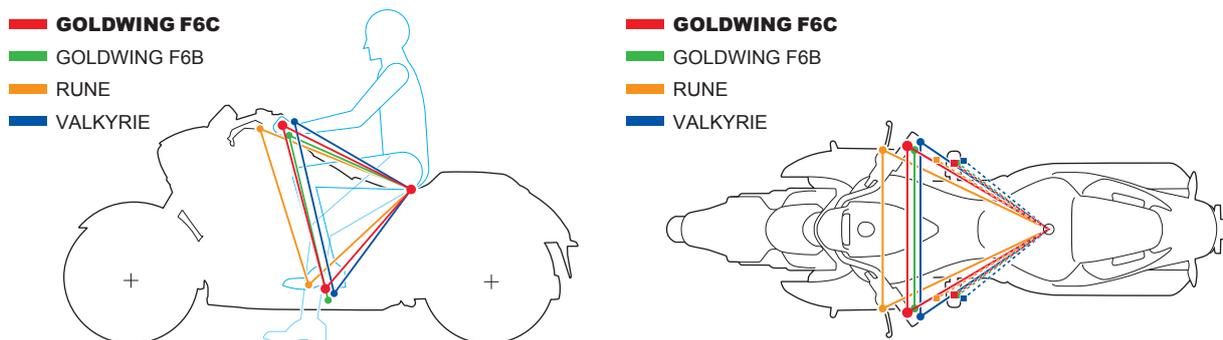
ラジエーターは車両に対して側面に配置しました。ラジエーターを通過した温度の高い風によってライダーが不快にならないよう、ラジエーター上部に空気導入口を設け走行風を後方に流すことで、ラジエーターを通過した温度の高い風がライダーに直接当たらない構造としました。※特許出願中



■ライディングポジション

F6C独自のライディングポジションを創出するために、ハンドル位置と幅を最適に配置し、さらに自由度の高いシート形状とすることで、よりゆったりとしたものとなりました。

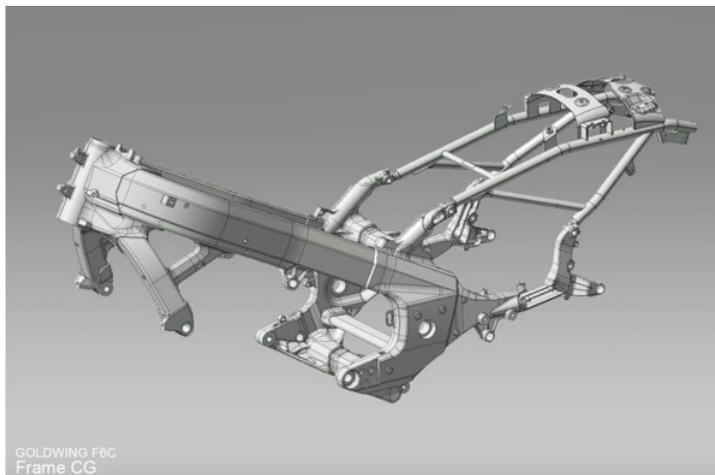
ライディングポジション比較図



■フレーム

フレームは、GOLDWINGと共通のエンジンをフレームの強度構成要因として設計した軽量マルチボックスセクション式アルミツインチューブフレームを採用し、最適な剛性と柔軟性を両立。大排気量のモデルでありながら柔軟な操縦性と快適な乗り心地に貢献し、バイク本来の操る楽しさを追求しました。フレームの色はGOLDWING F6Bと共通色のMAT BALLISTIC BLACK METALLICを採用し、独特の力強い雰囲気をかもし出しています。

フレームCG図



■フロントサスペンション / リアサスペンション

フロントサスペンションはφ45mmカートリッジタイプのテレスコピック式を採用し、リアサスペンションはセッティングを見直しました。これにより、市街地から郊外まで様々なシーンで快適な走行を実現に貢献し、低速域から高速域まで全域での扱いやすさを体感できるように仕上げています。



フロントサスペンション

■ハンドリング

街中から高速道路に至るまでの快適性を追求して、装備仕様をシンプル化するなど、軽量化を実施しながら、クルーザーとしての落ち着いたハンドリングを演出しています。

■ホイール

ホイールは、10本スポークアルミダイキャストホイールを採用。タイヤはフロント130/60R19M/C 61H、リア180/55R17M/C 73Hを採用し、安心の操縦性と高い安心感の実現に貢献しています。

■ブレーキ

ブレーキは、フロントに対向4ポットダブルキャリパーのφ310mmフローティングディスク、リアには3ポットキャリパーのφ316mmベンチレーテッドディスクを装備しました。



リアホイール/リアブレーキ



フロントホイール/フロントブレーキ

■ハンドルスイッチ

ハンドルスイッチは、人間工学に基づきデザインされ、親指の動きやフィット感、クリック感など快適な操作フィードバックを実現しています。

**■ウインカーオートキャンセラー**

ウインカーの使い勝手を良くするために、ウインカーオートキャンセラーを採用しました。このシステムの特徴は、ウインカーを作動させ車線変更や右左折終了後に、ウインカー作動を停止させます。ウインカー作動を停止させる仕組みは、前後車輪の車輪速差率の変化をセンサーで感知してウインカー作動を停止させます。

GOLDWING F6Cをカスタマイズされる方のために、多彩なオプションを用意しました。快適装備としては、ハイスクリーンやサイドディフレクター、バックレストを設定。積載性を向上する用品として、ツーリングボックスやサドルバッグ、リアキャリアを設定。また、利便性を向上する用品として、アラームやナビゲーションなどを設定。さらに、フロントフォグライトを組み込むなど、外観魅力向上に寄与する装飾用品の設定によりGOLDWING F6Cの楽しみの幅を拡げています。



アクセサリ装着車

ゴールドウイング F6C

車名・型式	ホンダ・EBL-SC68	
全長(mm)	2,470	
全幅(mm)	940	
全高(mm)	1,150	
軸距(mm)	1,705	
最低地上高(mm)	145	
シート高(mm)	735	
車両重量(kg)	342	
乗車定員(人)	2	
燃料消費率*(km/L)	25.0 (60km/h 定地燃費値)	
最小回転半径(m)	3.3	
エンジン型式	SC47E	
エンジン種類	水冷4ストロークOHC水平対向6気筒	
総排気量(cm ³)	1,832	
内径×行程(mm)	74.0×71.0	
圧縮比	9.8	
最高出力(kW[PS]/rpm)	86[117]/5,500	
最大トルク(N・m[kgf・m]/rpm)	168[17.1]/4,000	
燃料供給装置形式	電子式〈電子制御燃料噴射装置(PGM-FI)〉	
始動方式	セルフ式	
点火装置形式	フルトランジスタ式/バッテリー点火	
潤滑方式	圧送飛沫併用式	
燃料タンク容量(L)	22	
クラッチ形式	湿式多板ダイヤフラムスプリング式	
変速機形式	常時噛合式5段リターン	
変速比	1速	2.375
	2速	1.454
	3速	1.068
	4速	0.843
	5速	0.685
減速比(1次/2次)	1.591/1.028×2.750	
キャスト角(度)	29°50'	
トレール量(mm)	114	
タイヤ	前	130/60R19M/C 61H
	後	180/55R17M/C 73H
ブレーキ形式	前	油圧式ダブルディスク
	後	油圧式ディスク
懸架方式	前	テレスコピック式
	後	スイングアーム式(プロリンク、プロアーム)
フレーム形式	ダイヤモンド	

■道路運送車両法による型式指定申請書数値(シート高はHonda測定値) ■製造事業者/本田技研工業株式会社

*燃料消費率は、定められた試験条件のもとの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法、車両状態(装備、仕様)や整備状態などの諸条件により異なります。定地燃費値は、車速一定で走行した実測にもとづいた燃料消費率です。

*本仕様は予告なく変更する場合があります。※写真は印刷のため、実際の色と多少異なる場合があります。

*GOLDWING、PGM-FI、PRO-LINKは本田技研工業株式会社の登録商標です。